

楽しく美しい まちづくり通信…④8

地区民が守り続ける 薬師堂の祭典

薬師堂の祭典

承應三年(一六五四年)に米沢村の地頭になった藤田多左衛門は、村人の信仰の深さに心動き、貞享二年(一六八五年)に薬師堂を建立したと、大巻秀詮が福岡通代官を勤めていた時代に、調べ、書き残しています。阿弥陀如来、薬師如来、観世音菩薩、の三体が奉られています。しかし、山の草焼きで類焼されたと伝えられています。薬師堂は、身体の神様として信仰され、特に、目の神様として信仰されています。

つていきましたが、落雷や強い雨風などにより腐蝕が進み、いつ倒れるか予断できない危険状態になり、約二世紀半にわたりご神木として崇拜され、境内の威容を高揚し続けてきた大杉も重責を果たし姿を消しました。薬師堂の例大祭は、五月四日に行われます。このお祭りは、「やくすこ」と言い親しまれています。十年程前までは、旧暦の四月八日に行われ、昭和三十年代までは門前に店が並び、近郷からの人々で大変にぎわったといわれます。



子供たちでにぎわう山車の運行

いたなあー」と氏子総代の米屋さんは話してくれました。しかし、「やくすこ」も昭和四十年代に入り、物が豊富になり、人々の信仰心も少しずつ薄れ、かつてのにぎわいがなくなつたといえます。昭和六十年に地区の若者達がなんとかお祭りを盛り上げようと「お祭り同好会」を結成。昔のお祭りは、黙っていても近隣から沢山の人が集まった、これからのお祭りは、地区民が参加することによって、お祭りを守り続けていくとの意気込みからスタート。今では、子供達の奉納相撲、民謡、山車の運行などが行われ、夜にはナニヤトヤラ大会が行われているといえます。



薬師堂の氏子総代
よねやべんじ
米屋 弁司さん(82歳)
(米沢字家ノ上)

昔、現在の新潟県中蒲原郡出身の人が布教のため諸国を巡り歩いていました。米沢まで来て病で倒れたが、なお仏の道を説き続け、そのまま亡くなりました。村人たちは、薬師山の頂上付近(今のご山)にお堂を建て、いつも背負っていた仏像を安置し、霊を慰めたといひ伝えられています。これが薬師堂の起源といわれています。

境内には、お堂を守るように大きな、エゾエノキやイチヨウのご神木があります。また、十数年前までは、大杉が境内に残

「おら若者つこだった頃は、『やくすこ』ていえばこの辺では、春一番早い祭りで、福岡は勿論、石切所、金田一の方から沢山の参拝者があつたもんだ、門前には店が並び、店をだす人は毎年それぞれ農家などから戸板を借りてきて、それを組んで店を出したんだ」、「昔は、今みたいに、旅行とか、何でも食べれる時代ではなかった、でもお祭りはみんな楽しみだった、普段食べられないもの、まきと(紙でできた巻き笛)や紙風船などのおもちゃなども売って

「昔はむかし、今は同好会の若者たちは良く頑張っている。地域の活性化にもつながっている。伝え続けていくのが大切なことでしょう」と話してくれた米屋さんの言葉に時代の流れを感じました。

★4月★

こよみ



4月11日～5月10日

- 11日(金) メール法記念日
- 12日(土)
- 13日(日)
- 14日(月)
- 15日(火) 4カ月児健康診査(市保健センター)
- 16日(水)
- 17日(木) 2歳児歯科検診(市保健センター)
- 18日(金) 発明の日
- 19日(土)
- 20日(日) 穀雨、通信記念日
- 21日(月)
- 22日(火) 1歳6カ月児健康診査(市保健センター)、
税務巡回相談(市役所市民相談室)
- 23日(水)
- 24日(木)
- 25日(金)
- 26日(土)
- 27日(日)
- 28日(月)
- 29日(火) みどりの日
- 30日(水) 図書館記念日